

調 査 請 求 書

2025年9月30日

八代市議会議長 宛

請求者 住所

(代表者) 氏名 橋本 章寛

八代市政治倫理条例第7条第1項の規定に基づき、次のとおり審査を請求します。

- 1 違反するおそれがあると 成松由紀夫
認められる者の氏名

2 違反の内容(1,000字以内)

成松由紀夫八代市議会議員は、約20年間にわたり特定の市内中学校運動部活動の活動費と称し、八代市役所内で市幹部職員に物品販売をさせていたことが発覚した。

物品販売の流れは部長級の市幹部職員から各課長に依頼。課長が課内で回覧し集金。お金を部長へ渡し、市長公室長が取り纏めていた。成松由紀夫市議会議員へ渡った金額は数千万円にも上るとの疑惑がある。

市役所内で組織的に行われ続けてきた異常な物品販売に対して多くの職員から「物販を断れば成松由紀夫市議会議員から何をされるかわからない」「人事権を逆手に取られたと思うと断れなかった」等々、悲痛な証言が出され続けている。

この行為は明らかに不当で市議会議員の地位や肩書を利用し、その影響力を行使した行為であり八代市政治倫理条例に違反している。

八代市議会令和7年3月定例会では条例違反を理由に成松由紀夫市議会議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、賛成多数で可決されました。しかし、成松由紀夫市議会議員は「職員に任意で購入をお願いしたが強制はしていない」と弁明し、未だ議員辞職をすることなく市議会議員を続けている。

不当な行為を正当化する成松由紀夫市議会議員の行動は間違いなく八代市政治倫理条例に反する行為であり、政治倫理審査会において問題の全容解明をさせる必要がある。

なお、成松由紀夫市議会議員が2025年3月18日に行った記者会見を報じた週間政治レポート(令和7年3月26日付)には物品販売における「収支や帳簿を保護者から提出されている」「横領のお金で自宅を建てたと言われているが住宅ローンの証明書、団信にも入っている」と記載があった。そもそも記者会見が関係者のみで行われるなど閉鎖的かつ情報開示も無い状況であり疑惑を払拭するに足るものでは無かった。政治倫理審査会では通帳や帳簿、住宅ローンの証明書などの確認も必要と考える。



3 違反の根拠

八代市政治倫理条例第3条第1項第(3)号、(4)号、(5)号

4 違反を証する資料

【別紙1】

八代市議会令和7年3月定例会議事録3月10日5号中 中山諭扶哉議員の発言内容

【別紙2】

八代市議会令和7年3月定例会議事録3月19日6号中 谷口徹議員の発言内容

【別紙3】

週間政治レポート（令和7年3月29日発行）記事